



日本共産党

のの山けん 区政レポート

<http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

北区議会議員

No.103 2009.12.2

発行 日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談はお気軽に

090-2156-3510

区庁舎改築、子育て支援を問う



第4回定例会で、のの山区議が個人質問

日本共産党の、のの山けん区議は11月27日、北区議会第4回定例会で個人質問にたち、北区庁舎改築問題、子育て支援施策について、花川区長の見解を質しました。

のの山区議は、庁舎改築問題について「区民はいま、固唾を飲んで見守っている」と指摘した上で、区が特別委員会の設置からわずか4ヵ月で「移転・改築」を基本方向とする「基本方針案」をまとめ、特別委員会が改築の方向性を了承する「とりまとめ」をおこなったことに反対の立場を表明しました。

区民意見をないがしろにすることは許されない

数十年に一度の大事業なのに、たった1回、わずか1ヵ月間の

区民意見をないがしろにすることは許されない」と批判。「少なくとも区内7カ所以上の会場で、区民向けの説明会を開催すべきだ」と迫りましたが、区は「町会自治会連合会で説明する」というだけで、12月に予定されていた「まちかどトーク」も中止にしてしまいました。

現庁舎は緊急の耐震補強工事こそ急ぐべき

さらに、のの山区議は「庁舎改築の計画がどのようにまとまるにせよ、耐震性に問題がある」と相談しながら、適切に対応するにせよ、耐震性に問題がある

耐震補強工事こそ急ぐべきではないか」と質問。区は「暫定的な耐震補強工事こそ急ぐべきではありません」と答えるなどと答えました。

次に、のの山区議は、子育て支援施策の充実・発展を求めて区長に質問しました。

続いて、のの山区議は、区の「基本方針（案）」について、「財源や移転先を度外視したまま『移転・建替え』だけにしぶりこんだのは問題だ」と指摘。

「きちんと財源を示してほしい」

（裏面に続く）

(表面からの続き)

のの山議はまず、待機児解消にむけた保育計画について質しました。

認可保育所増設を待機児解消の基本にすえよ

その第1は、認可保育園の増設を基本にすることです。

厚生労働省は待機児解消のためといいながら、保育所の設置基準をゆるめ、満員の部屋に、さらに子どもを詰め込もうとしています。のの山議は、こうしたやり方を許さず、保育計画にしっかりと認可求めました。区は「数値目標もふくめ、計画化してゆく」と答えました。

分園の設置にともない必要な数の職員配置を

第2は、来年度から4つの区立保育所で設置される分園について、必要な職員の配置

をおこなうことです。

のの山議は、初めて分園ができる現場では「想定できないまま不安ばかりが募つている」などの声がだされていことを紹介。分園のデメリットをカバーするため、保育士などの加算配置をおこなうよう求めました。区は「先行区の事例も参考に、職員体制を

判断する」などと答えました。

第3に、認証保育所の誘致にあたり、営利目的の株式会社を排除すること、第4には指定管理園について、法人の自己負担とならないよう施設改善要求に正面からこたえることを求めました。

子育て支援団体を応援し協力・共同すすめよ

さらに、自主的・創造的に子育てひろばづくりにとりくんでいるNPOや民間団体への支援を求めたのに対し、区は「子育てひろば事業を拡充し、子育て支援団体との情報交換やネットワークの強化にとりくむ」と答えました。

続いて、のの山議は、家庭での子育てを応援する施策について質問しました。

区は、乳幼児と親の居場所について、志茂子ども交流館を含む25児童館の整備をおこ

なってきました。のの山議は、赤ちゃんと連れの親子が一日中安心していられるスペースを確保することをはじめ、区の施設での施策をさらに充実させることを求めました。

区は「乳幼児やその保護者にとって、利用しやすい施設となるよう運営の充実に努める」などと答えました。

児童館で赤ちゃん連れの親子スペースの確保を

のの山議は、家庭での子育てを応援する施策について質問しました。

区は、乳幼児と親の居場所について、志茂子ども交流館を含む25児童館の整備をおこ

日本共産党志茂・赤羽後援会 ぜひ、ご参加ください！

都区政報告のつどい



前都議会議員
**そね
はじめ**



区議会議員
**のの山
けん**

12月12日(土)

午後6時30分開会

●会場 赤羽会館第2集会室